

表 彰 農 家

【沖縄県 1 位】 農林水産大臣賞
南部地区代表 (八重瀬町)

きんじょう のぼる
金城 昇



甘蔗糖重量 2,350kg/10a 蔗茎重量 9,180kg/10a
甘蔗糖度 16.4 度 春植 品種 Ni27

【沖縄県 2 位】 農林水産省政策統括官賞
南部地区代表 (那覇市)

しまぶくろ ゆきみつ
島袋 幸光



甘蔗糖重量 2,290g/10a 蔗茎重量 9,980kg/10a
甘蔗糖度 14.7 度 春植 品種 NiF8

【沖縄県 3 位】 沖縄県知事賞
八重山地区代表 (石垣市)

い ほ まさあき
伊保 正明



甘蔗糖重量 2,211g/10a 蔗茎重量 9,080kg/10a
甘蔗糖度 15.6 度 春植 品種 Ni27

【奨励農家】 沖縄県糖業振興協会理事長賞

宜野座村

甘蔗糖重量 1,911kg/10a
甘蔗糖度 15.5 度

^{なかま やすし}
仲間 靖

蔗茎重量 7,900kg/10a
春植 品種 Ni29

宮古島市

甘蔗糖重量 1,932kg/10a
甘蔗糖度 14.2 度

^{なかざと}
仲里 ヨシ

蔗茎重量 8,714kg/10a
春植 品種 RK97-14

【多量生産の部】

《農家の部》

【県1位】 (独)農畜産業振興機構理事長賞

南大東村

(生産量 1,190,672kg

^{こうち さとし}
幸地 聡

甘蔗糖度 13.8 度)



【県2位】 沖縄県農林水産部長賞

北大東村

(生産量 552,049kg

^{そめい すえひろ}
染井 末広

甘蔗糖度 14.1 度)



《生産法人の部》

【県1位】 (独)農畜産業振興機構理事長賞

久米島町

農業生産法人
有限会社 久豊会

代表者 喜久里 稔

(生産量 833,000kg 甘蔗糖度 14.39度)



【特別優良事例の部】 沖縄県糖業振興協会理事長賞

宜野座村

石川 昌子

南大東村

沖山 敬雄

南城市

仲村 安政

宮古島市

川満 正昭

竹富町(小浜)

大嵩 善立

石垣市

次呂久 栄重

令和1／2年期さとうきび競作会審査結果の講評

審査委員長 川之上 昭彦
沖縄県農林水産部営農支援課
農業革新支援専門員

1 取り組みの経緯

本競作会は生産技術および経営改善において創意工夫し、高単収・高品質な生産を上げたさとうきび農家を表彰することによって、県内各地のさとうきび作農家の生産意欲を喚起して沖縄県の糖業発展につなげていくことを目的としています。

今期の競作会は、令和1／2年期収穫のさとうきびを対象として、各製糖工場、さとうきび生産振興協議会、地区農業振興会、JAおきなわ、同中央会、分蜜糖工業会、黒砂糖工業会、県農業研究センター及び各支所、糖業農産課、営農支援課から成る「沖縄県さとうきび優良事例調査委員会(以下、調査委員会)」を令和元年9月4日に開催し、実施要領を定め、スタートしました。

地区では令和元年12月上旬から令和2年1月下旬にかけて審査を行い、地区代表を沖縄県糖業振興協会に推薦し、調査委員会は令和2年1月24日に、推薦のあった5点について実施要領に基づき出品資格を確認し、県審査の日程を決定しました。推薦のあった5点はいずれも春植え作型でした。令和2年2月12日に宮古、八重山地区、2月14日に沖縄本島北部、南部地区の出品圃場で5a全刈りによる実測審査を行いました。

今期は各作型とも曇天が多く日照不足による莖数減少、莖径が細い等により収量面に影響を受けるなど、例年になく厳しい条件での審査になりました。このような中、地区審査ならびに県審査に積極的にご協力を頂いた生産農家を始め、各関係機関の皆様に感謝申し上げます。

農家の部の県審査の結果について、令和2年2月28日の第3回調査委員会で協議したところ、1点が基準単収に達せず、沖縄県さとうきび優良事例調査規程(以下、調査規程)に定められた単収及び糖度基準を超えた4点から1位から3位を決定しました。

多量生産の部では、今期の工場搬入量、品質から地区糖業に貢献度の高い生産農家および生産法人を各工場から推薦していただき、上位2農家、1生産法人について、3月10日から18日にかけて経営とさとうきび栽培管理の聞き取り調査および現場確認を行いました。令和2年3月19日に農業研究センター、糖業農産課、営農支援課および糖業振興協会から成る専門委員会で調査規程に照らし、多量生産の部における順位を決定しました。

2 審査結果

《農家の部》

【沖縄県1位】 農林水産大臣賞

南部地区代表 八重瀬町字当銘248-2 金城 昇 Ni27 春植,
(甘蔗糖重量 2,350kg/10a 蔗茎重量9,180kg/10a 甘蔗糖度16.4)

【沖縄県2位】 農林水産省政策統括官賞

南部地区代表 那覇市与儀2-13-21 103 島袋 幸光 NiF8 春植
(甘蔗糖重量 2,290kg/10a 蔗茎重量9,980kg/10a 甘蔗糖度14.7)

【沖縄県3位】 沖縄県知事賞

八重山地区代表 石垣市字新川2224-8 伊保 正明 Ni27 春植
(甘蔗糖重量 2,211kg/10a 蔗茎重量9,080kg/10a 甘蔗糖度15.6)

【奨励農家】 (公社)沖縄県糖業振興協会理事長賞

北部地区代表 宜野座村字宜野座491 仲間 靖 Ni29 春植
(甘蔗糖重量 1,911kg/10a 蔗茎重量7,900kg/10a 甘蔗糖度15.5)

宮古地区代表 宮古島市下地字洲鎌972-4 仲里 ヨシ RK97-14 春植
(甘蔗糖重量 1,932kg/10a 蔗茎重量8,714kg/10a 甘蔗糖度14.2)

《多量生産の部》

【農家の部】

【沖縄県1位】 (独)農畜産業振興機構理事長賞

南大東村 幸地 聡
(生産量 1,190,672kg 甘蔗糖度 13.8度 工場シェア 1.14%),

【沖縄県2位】 沖縄県農林水産部長賞

北大東村 染井 未広
(生産量 552,049kg 甘蔗糖度 14.1度 工場シェア 1.85%)

【生産法人の部】

【沖縄県1位】 (独)農畜産業振興機構理事長賞

久米島町 (有)久豊会
(生産量 833,000kg 甘蔗糖度 14.4度 工場シェア 1.50%)

《特別表彰の部》(公社)沖縄県糖業振興協会理事長賞

【農家】

宜野座村	石川昌子
南大東村	沖山敬雄
南城市	仲村安政
宮古島市	川満正昭
竹富町	大嵩善立
石垣市	次呂久栄重

【団体】

該当なし

3 審査の総括

(1) 令和1/2年期の気象条件と生育状況(農業研究センター気象感応試験より)

ア 沖縄本島北部では3~4月の降雨は平年より少ないが、集中した降雨が定期的
にあり春植え発芽が悪かった。干ばつは生じていないが、梅雨後半から9月まで降
雨量が非常に多く曇天が多かった。10月以降、日照時間が平年を上回り乾燥傾向
であった。春植え・株出しともにBrixは平年を上回るが、茎数が平年より少なく原
料茎重は平年を下回った。

イ 沖縄本島南部では春植えと株出しの仮茎長は3月頃に長雨等の天候不順の影
響を受け平年値よりも低く推移した。夏植えは全期間において平年値より高く推移
した。茎数は、春植えでは平年を大幅に下回り、株出しは平年並み、夏植えは平年
値を上回った。以上から、春植えと株出しの収量は平年値を下回り品質は平年値
並となった。夏植えは収量が増加し、品質は平年値並みとなった。

ウ 宮古では降水量は5~6月は平年値よりやや少なかったが、7月と9月の降水量は
非常に多く、6月と9月の日照時間が非常に短くなった。8月上旬に台風9号(最大
瞬間風速46.6m/s)、9月上旬に台風13号(最大瞬間風速37.2m/s)の接近があ
ったが、被害は軽微であった。春植えの仮茎長は平年値を上回って推移したが茎数
は少なめに推移した。夏植えと株出しは仮茎長、茎数ともに平年並みとなった。

エ 八重山では降水量は5~6月は平年値よりやや少なかったが、7月から9月の降
水量は非常に多く、6月と9月の日照時間が短くなった。8月上旬に台風9号(最大
瞬間風速34.6m/s)、9月上旬に台風13号(最大瞬間風速34.5m/s)、9月末から
10月1日に台風18号(最大瞬間風速43.2m/s)の接近があったが、被害は軽微で
あった。春植えと夏植えの生育本数及び茎長は平年並みで推移し、株出しの茎長は
平年並みであるが、生育本数は平年より多く推移している。

(2) 農家の部の選抜状況

今期、出品された5点は全て春植えで、品種はNiF8が1点、Ni27が2点、Ni29が1
点、RK97-14が1点でした。

県1位となった南部地区金城昇さんは、春植えNi27はジャーガル土壌で栽培され、
単収9,180kg、甘蔗糖度16.4度で収量、品質共に特に優れる。茎数8,267本/10a

で枯死茎数がなく、茎径2.31cmで、茎長約241cm、一茎重が1,154gであった。枯死茎、ソ害茎が無く、非常に高い品質が今回の結果につながっている。

県2位となった南部地区島袋幸光さんは、春植えNiF8はジャーガル土壌で栽培され、単収9,980kg、甘蔗糖度14.7度収量、品質共に優れる。茎数6,967本/10aとやや少ないが、茎長266.2cm、茎径2.31cmで、1茎重が1,321gであった。枯死茎が無く、ソ害茎がごく少ないことが今回の結果につながっている。単収では1位をしのぐものの、甘蔗糖度の差により順位が逆転している。

県3位となった八重山地区伊保正明さんは、春植えNi27は島尻マージ土壌で栽培され、単収9,080kg、甘蔗糖度15.6度で収量、品質共に優れる。茎径2.3cm、茎数6,967本とやや少ないが、茎長約308cmと長く1茎重1,599gであった。

他推薦のありました2件につきまして、宮古地区仲里ヨシさんは、春植えRK97-14は島尻マージ土壌で栽培され、茎径約2.5cm、茎長約289cmと長く1茎重1,640gでしたが、茎数が5,367本と少なく単収8,714kg/10a、甘蔗糖度14.2度と出品基準を超えましたが、第4位となりました。北部地区仲間靖さんは、春植えNi29は茎数8,933本と多かったです、茎径が2.25cm、茎長が約228cmと短く、ソ害がやや有り単収が7,900kgで惜しくも審査基準を満たしていませんでした。

今年は台風被害が少なく降雨に恵まれた反面、曇天が多く生育旺盛記の日照不足10～11月の少雨による生育不良が多く見られる中、春植え単収9トン台を確保した栽培技術は、今後の安定生産に結びつくものとして期待されます。

(3)多量生産の部における経営および栽培の状況

ア(生産農家の部)

生産農家の部1位の南大東村 幸地聡さんは、14年ほど前に独立後さとうきび経営を発展させ、現在、栽培面積を約16haまで拡大し、約1,191トン进行収穫し、製糖工場が生産する甘蔗糖の1.14%を占めている。

植付と収穫は受託組織への作業委託で、本人は100馬力級大型トラクタ2台と20馬力未満のミニトラクタ2台を所有し、害虫防除や肥培管理を適期に行い機械化体系の中で、生育状況をよく観察し、雑草管理や補植等の手作業にも手を抜かず、また、圃場にあった品種を選定し平均8t以上という高単収を実現している。

生産農家の部2位の北大東村 染井末広さんは、約6haの栽培面積から552トン进行収穫し、工場シェアの1.85%を生産しています。春植え株出し体系を、夏植え作型を組み合わせ労働時間の平準化を図り、適期栽培管理を実践している。栽培品種はNiF8がほとんどで、品種特性を十分に理解し、品種にあった栽培法を実践し、堆肥や緑肥などの有機質の投入による土づくりに努め、平均単収10t以上という大変素晴らしい実績を上げている。

ウ(生産法人の部)

生産法人の部1位となった久米島町農業生産法人(有)久豊会は、さとうきびは栽培面積約25haで696t生産し、ハーベスタ収穫23haを受託する農業生産法人である。工場シェアは1.5%で、機械化一貫体系に要する機器は植付から管理作業、収穫ハーベスターまで全て揃っている。特に近年導入したブームスプレイヤにより、除草剤や殺虫剤散布の効率化が図られ、80筆以上ある圃場を効率的に管理を行っている。

以上の経営調査から、経営面積は大きくとも収穫後の除草管理や施肥管理を適

期に行う事は個人、法人とも共通しており、それぞれ工夫している様子が確認できました。

(4) 特別優良事例

長年に亘り沖縄県糖業の発展に貢献された個人農家として各地区から推薦のあった、北部地区 石川昌子さん、南部地区 沖山敬雄さん 仲村安政さん、宮古地区 川満正昭さん、八重山 地区大嵩善立さん 次呂久栄重さんは、調査委員会でその功績が認められ、特別優良事例者として選出されました。

今回のさとうきび優良事例調査を、受賞された農家個人、団体の皆様をはじめ、表彰された生産農家の優れた生産技術を共有する機会となり、本県さとうきび生産農家の栽培技術の向上と収益の向上に繋がりますよう、また、経営調査を通して明らかになった地域の課題についても、関係機関による解決に向けた取組の強化が図られることを祈念して、調査委員会を代表として講評いたします。有難うございました。